

優秀賞

中学生部門

板橋区立志村第五中学校 3年

内田 文子

## 笑ったもん勝ち

明るいな。元気だね。悩みなんてなさそうだね。と、よく言われる。確かに私はよく、友達と笑い合ったり、元気に部活をしている。周りからみたら、明るく元気でよく笑う子だ。

しかし、なにも悩みがないわけではない。今まで沢山の失敗をしてきた。今、自分の目の前にあることから目を背け逃げ出したいと思ったりもした。それは、友達と喧嘩をして一人になったときや、怪我で長い間部活ができず、大会で結果を残せなかったときだ。精一杯努力をしてもダメだった。でも、逃げ出さないで向き合ってこれた。その陰にはこの言葉があったからだと思う。それは「笑え」という言葉。たった二文字の言葉が私を強くした。いつ誰に言われたか、今では覚えていない。でも、気づいたときには私の中にあった。もしかしたら、自分で自分に言い聞かせていたのかもしれない。私は、この言葉のおかげで失敗したっていいじゃないかと思えた。諦めるのではなく、思い続ければいい。壁にぶつかったっていい。なぜなら、それは前に進んでいる証拠だからだ。叶わないこと、うまくいかないことだってある。最初から叶ったりうまくいったりすることにはあまり価値はなく、その過程の方が価値があるんだ。そう考えるようになった。すると、泣いたり悔やんだりしていても仕方がないと思えた。なんだか自然と笑顔になれた。いつの間にか、「笑え」という言葉が私の支えになっていた。

笑っていると人も寄ってくる。笑っていると幸せが沢山ふってくる。だから、これからも私はたつくさん笑って生きてゆく。過去のことや未来のことを考えてくよくよして生きている人か、今と向き合って一分一秒を大切に笑顔で生きている人であれば私は、後者になりたい。この先も今まで以上に苦労や困難にぶつかるだろう。倒れたって、転んだっていい。私は何度だって立ち上がって笑ってやる。